

2019 全日本空道無差別選手権大会で試行した U19 ルールの件

記

1月に開催した理事会において次のように決定しましたので、通知します。

肘打ちと頭突き以外は顔面への打撃を許可することとして2019全日本空道ジュニア選手権大会を実施したが、今後もこれを継続する。

また寝技における絞め・関節技においては、選手の怪我の防止の観点から、審判による「見なし一本」の判定を採用する。

「見なし一本」の判定方法については、主審が止めたあとに副審に判定を求め、最終的に3名以上の審判の支持をもって「一本」が成立するものとして当面試行し、全日本空道連盟のルール検討委員会と審判資格審査委員会において8月末までにその試行に対する検討を行う。

正式ルールとしての導入にあたり、10月に開催予定の国際空道連盟理事会および総会において提案する。

以上